

### 1. プログラム概要

本事業は「JENESYS2.0」の一環として、日本の高校生 50 名（引率者含む）をマレーシアへ派遣し、11 月 3 日から 11 月 12 日までの 9 泊 10 日の日程でプログラムを実施しました。派遣団は在マレーシア大使館とマレーシア教育省で長く深い両国関係を学んだあと、現地学校と交流し、熱烈的な歓迎を受けました。派遣生徒によるプレゼンテーションでは、「伝統文化」「ポップカルチャー」「自然」「武道」などの日本の強み・魅力を発信し、その後のホームステイでは、グループで現地の農家に滞在し、相互理解を深めました。また、JICA が支援している NGO 団体を見学し、日本が経済的にだけでなく、人的にも派遣国を支援していることを理解しました。また、市内視察を通じて多民族国家マレーシアを体感しました。最終日の報告会では、派遣国で学んだことを自身のアクションプランを提示しながら力強く発表しました。

### 2. 参加校・人数

宮崎県立宮崎大宮高等学校 25 名（うち、引率教員 2 名）

群馬県立前橋女子高等学校 25 名（うち、引率教員 2 名）

### 3. 訪問地域

マレーシア国、クアラルンプール市及びセランゴール州サバツベルナム地域

### 4. プログラム目的

将来を担う青少年が本派遣プログラムを通じ、主に同世代との交流を通じ、両国の友情を育み、また、派遣国において、日本の先端技術・製品、ものづくり、自然、伝統文化、ポップカルチャー等のクールジャパンを含めた日本の強みや魅力等の日本ブランド、日本的な「価値」を積極的に発信し、派遣国の人々の対日理解を深め、日本への潜在的な関心を増進させること、ひいては、日本を訪れる外国人旅行者数の増大を図り、日本経済再生への足がかりとすることを目的とします。

### 5. 日程

11 月 3 日（月）

オリエンテーション

11 月 4 日（火）

クアラルンプール国際空港から入国

11 月 5 日（水）

日本国大使館とマレーシア教育省訪問

11月6日(木)

クアラルンプール市内の高校訪問

- ・セランゴール科学高等学校 (Sekolah Menengah Sains Selangor (SMSS))  
宮崎県立宮崎大宮高等学校
- ・スリプトリ科学女子高等学校 (Sekolah Menengah Sains Seri Puteri (SESERI))  
群馬県立前橋女子高等学校

11月7日(金)

セランゴール州サバツベルナム地域の高校訪問

- ・シンパンリマ宗教高等学校 (Sekolah Menengah Kebangsaan Agama Simpang Lima (SMKASL))  
宮崎県立宮崎大宮高等学校訪問高校
- ・サバツベルナム全寮制高等学校 (Sekolah Berasrama Penuh Integrasi Sabak Bernam (SBPISB))  
群馬県立前橋女子高等学校訪問高校

その後、ホストファミリーと対面、ホームステイ実施

11月8日(土)

ホームステイ終了、クアラルンプール市に移動

11月9日(日)

歴史/文化/自然体験 (国立モスク、ジャディ・バティック (バティック体験)、バトゥー洞窟、セントラル・マーケット)

11月10日(月)

NGO 団体視察 (ユナイテッド・ボイス)、ワークショップ

11月11日(火)

成果報告会、クアラルンプール国際空港から出国

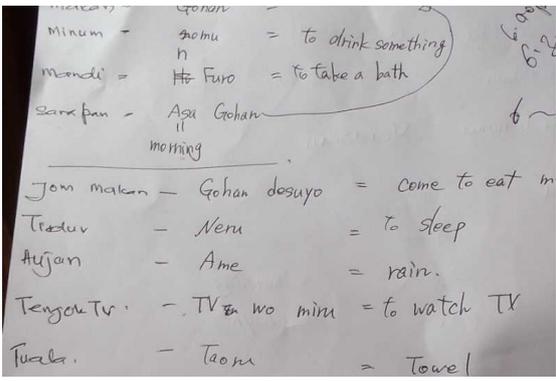
6. 写真

	
<p>11/3 オリエンテーション (成田)</p>	<p>11/3 オリエンテーション: 自校紹介</p>
<p>Pre-Departure Orientation (Narita)</p>	<p>Pre-Departure Orientation: Self Introduction of Schools (Narita)</p>
	
<p>11/5 在マレーシア日本国大使館表敬訪問</p>	<p>11/5 在マレーシア日本国大使館表敬訪問</p>
<p>Courtesy call on Embassy of Japan in Malaysia</p>	<p>Courtesy call on Embassy of Japan in Malaysia</p>
	
<p>11/5 市内視察 (プトラジャヤ): 現地高校生と</p>	<p>11/5 マレーシア教育省表敬訪問</p>
<p>Observation Tour in a city (Putrajaya): With Malaysian students</p>	<p>Courtesy call on Ministry of Education</p>

	
<p>11/5 マレーシア教育省表敬訪問</p>	<p>11/5 マレーシア教育省表敬訪問</p>
<p>Courtesy call on Ministry of Education</p>	<p>Courtesy call on Ministry of Education</p>
	
<p>11/6 学校交流: 日本文化 (習字) 紹介 (SMSS)</p>	<p>11/6 学校交流: 日本の強み・魅力発表 (SMSS)</p>
<p>School Exchange Programme: Introduction of Japanese Culture (Japanese Calligraphy) (SMSS)</p>	<p>School Exchange Programme: Presentation about Strength &amp; Attractive Points of Japan (SMSS)</p>
	
<p>11/6 学校交流: 生徒間交流 (SMSS)</p>	<p>11/6 学校交流: 日本文化 (折鶴) 紹介 (SMSS)</p>
<p>School Exchange Programme: Exchange between students (SMSS)</p>	<p>School Exchange Programme: Introduction of Japanese Culture (Folded-paper Cranes) (SMSS)</p>

	
<p>11/6 学校交流：日本の強み・魅力発表 (SMSSP)</p>	<p>11/6 学校交流：日本文化（剣道）紹介 (SMSSP)</p>
<p>School Exchange Programme: Presentation about Strength &amp; Attractive Points of Japan (SESERI)</p>	<p>School Exchange Programme: Introduction of Japanese Culture (Kendo) (SESERI)</p>
	
<p>11/6 学校交流：マレーシア文化体験 (SMSSP)</p>	<p>11/6 学校交流：生徒間交流 (SMSSP)</p>
<p>School Exchange Programme: Experiencing Malaysian Culture (SESERI)</p>	<p>School Exchange Programme: Exchange among students (SESERI)</p>
	
<p>11/7 学校交流：日本の強み・魅力発表 (SMKASLSB)</p>	<p>11/7 学校交流：日本文化（習字）紹介 (SMKASLSB)</p>
<p>School Exchange Programme: Presentation about Strength &amp; Attractive Points of Japan (SMKASL)</p>	<p>School Exchange Programme: Introduction of Japanese Culture (Japanese Calligraphy) (SMKASL)</p>

	
<p>11/7 学校交流：日本文化（唱歌）紹介 (SMKASLSB)</p>	<p>11/7 学校交流：生徒間交流 (SMKASLSB)</p>
<p>School Exchange Programme: Introduction of a children's song (SMKASL)</p>	<p>School Exchange Programme: Exchange among students (SMKASL)</p>
	
<p>11/7 学校交流：日本の強み・魅力発表 (SBPISB)</p>	<p>11/7 学校交流：伝統遊び体験 (SBPISB)</p>
<p>School Exchange Programme: Presentation about Strength &amp; Attractive Points of Japan (SBPISB)</p>	<p>Experiencing Malaysian Culture (SBPISB)</p>
	
<p>11/7 学校交流：日本文化（J-Pop）紹介 (SBPISB)</p>	<p>11/7 学校交流：日本文化（J-Pop）紹介 (SBPISB)</p>
<p>School Exchange Programme: Introduction of Japanese Culture (J-Pop) (SBPISB)</p>	<p>School Exchange Programme: Introduction of Japanese Culture (J-Pop) (SBPISB)</p>

	
<p>11/7 ホストファミリーと対面</p>	<p>11/7-8 ホームステイ</p>
<p>Meeting with host families</p>	<p>Homestay</p>
 <p>     Minum - Minum = to drink something      mandi = Mandi = to take a bath      sarapan - Sarapan = to eat      tidur - Tidur = to sleep      hujan - Hujan = rain.      Tonton TV - Tonton TV = to watch TV      Tuala - Tuala = Towel   </p>	
<p>11/7-8 ホームステイ：ホストファミリーの準備 (マレー語 - 日本語 - 英語)</p>	<p>11/7-8 ホームステイ</p>
<p>Homestay (Preparation by Host Family (Malay-English-Japanese))</p>	<p>Homestay</p>
	
<p>11/9 歴史/文化/自然体験：国立モスク</p>	<p>11/9 歴史/文化/自然体験：バティック体験 (ジャディ・バティック・センター)</p>
<p>Experience of history / culture / nature (National Mosque)</p>	<p>Experience of history / culture / nature: Experiencing Batek (Jadi Batek Centre)</p>

	
<p>11/10 NGO 団体視察 (ユナイテッド・ボイス)</p>	<p>11/10 NGO 団体視察 (ユナイテッド・ボイス)</p>
<p>Visit to NGO Organization (United Voice)</p>	<p>Visit to NGO Organization (United Voice)</p>
	
<p>11/10 ワークショップ</p>	<p>11/10 ワークショップ</p>
<p>Workshop</p>	<p>Workshop</p>
	
<p>11/11 報告会</p>	<p>11/11 報告会</p>
<p>Reporting session</p>	<p>Reporting session</p>

	
<p>11/11 報告会</p>	<p>11/11 歓送会：東方政策元留学生同窓会会長挨拶</p>
<p>Reporting session</p>	<p>Farewell: Remarks by President of Alumni Look East Policy Society (ALEPS)</p>

※上記写真中、訪問高校名は略語で記載してあります。

- SMSS: セランゴール科学高等学校 (Sekolah Menengah Sains Selangor)
- SESERI: スリプトリ科学女子高等学校 (Sekolah Menengah Sains Seri Puteri)
- SMKASL: シンパンリマ宗教高等学校 (Sekolah Menengah Kebangsaan Agama Simpang Lima)
- SBPISB: サバツベルナム全寮制高等学校 (Sekolah Berasrama Penuh Integrasi Sabak Bernam)

## 7. 参加者の感想

### 宮崎県立宮崎大宮高等学校

・私は日本の外から日本を見つめたい、マレーシアの人に日本の事を良く知ってもらいたいと思っていましたが、今回のマレーシア派遣で両方とも達成できたと思います。マレーシアの2つの高校を訪問した時、生徒達がとても積極的に話しかけてきたことにまず驚き、この態度を見習いたいと思いました。また、日本のアニメ、アイドル、書道、折り紙など、たくさんの事をマレーシアの生徒達がとてもよく知っていたことにも驚くと同時に、とても誇りに思えました。農村に住んでいるホストファミリーの家でも日本のアニメがテレビで放送されていました。ホームステイは初めてのため、言葉の壁もあり心配でしたが、ジェスチャーや絵を使って考えを伝えることができました。一緒に折り鶴を折ったり、けん玉遊びをしました。食事も大変おいしかったです。水溜めしかなかく、シャワーを浴びることができなかつたことが唯一辛かったです。言葉の壁や生活習慣の違いはありましたが、この経験は将来への自信となりました。マレーシアでの経験や感じたこと、気づいたことを様々な機会ですべての人に伝え、共有していきたいと思っています。

・私はこの派遣プログラムを通じて、多くの人や文化に触れることができました。マレーシアで訪問した高校の生徒達はとてもフレンドリーですぐに打ち解けることができました。連絡先も交換し、毎日のように連絡を取り合っています。ホームステイ先のご家族もとても優しく、言葉の壁はありましたが、楽しい時間を過ごすことができました。また、一緒に参加した前橋女子高校の生徒さん達ともとても仲良くなることができました。マレーシア派遣での出会いを大切に、またいつか会いたいと願っています。最も印象深かったのはNGO団体のユナイテッドボイス訪問です。私は学校で国際ボランティア部に所属していますが、海外青年協力隊で派遣されている今川さんの話を聞いて、様々な人生があることを知りました。また、「手助けがなければできない」ではなく「手助けがあればできる」という今川さんの言葉に特に感銘を受けました。私たちはユナイテッドボイスの商品を来年の文化祭で販売しようと考えています。今回のプログラムで得た思い出と貴重な経験を、友人や家族に話したり、文化祭で発表したりして、多くの人と共有していこうと思います。

・JENESYS2.0 高校生派遣プログラムで、日本や以前行ったことのある先進国と比較しながら、マレーシアの気候や文化、生活習慣、街の雰囲気、人々の様子など多くのことを学ぶことができました。今回のプログラムでもっとも印象深く記憶に残っているのは、マレーシアの2つの高校との学校交流です。私は両方の高校で書道のパフォーマンスを披露したのですが、生徒達の反応が良く、多くの生徒が「書道」の事を知っていました。交流を通じて生徒達とたくさん会話することもできました。彼らは私達外国人に対しても積極的に話しかけてくれ、聞くのも上手で、会話が弾みました。また、さりげなく椅

子を用意してくれたり、荷物を運ぶのを手伝ってくれたりと、とても親切で優しい人が多かったです。これからは私たちが決めたアクションプランに沿って、今回の派遣事業で学んだ事を学校や地域で共有し、それに加えて、自分でも家族や親戚などとも共有し、自分の将来のために活かしていきたいと思います。

### 群馬県立前橋女子高等学校

・今回の訪問を通じて、マレーシア教育省、そして現地校生徒の実際の現場を目にし、マレーシアの教育に対する熱意を感じました。特に、生徒一人一人においては日本への関心が高く、日本語で「こんにちは!」「かわいい!」「おいしい!」と言ったり、中には日本語で自己紹介をしてくれた生徒もいました。また、日本のアニメについても詳しくとても驚きました。日本の技術(産業・医療)について紹介した際には、「すばらしい!」と好印象を持ってくれました。私は日本の技術が世界に通用していることを実感したとともに、世界各国で日本の技術が大きく貢献していることを学びました。今後はマレーシアで築いた友好関係を大切に、連絡を取り合い、さらに日本の文化、歴史、産業、科学技術などの世界に誇れることについて、今後もマレーシアの人たちに伝えていきたいと考えています。

・マレーシアは思っていた以上に発展していてとても驚きました。車や近代的な建物の多さは想像をはるかに超えていました。中でもツインタワーの美しさ、高さが印象的でした。また、マレーシアの発展の背景には、日本からの多くの支援があるということであらゆる場所で感じられました。建築などにおいても日本の技術が採用されており、街を見ても日本企業が数多く進出していました。学校訪問では、多くの生徒が日本についてさまざまな知識を持っていて驚かされました。しかし、急激に発展、近代化する一方、車の排気ガスにより空気が汚れていたり、熱帯雨林が伐採され、ところどころ赤い土がむき出しになっていたりというように、環境への負担も大きくなりました。日本はマレーシアの発展を支援すると同時に、自然保護の手助けも行っていかなければならないと感じました。また、世界中で環境破壊が問題になる中、私たちはもっと自然のことを考えて、身近なところから気を配っていかなければならないと改めて思いました。

・現地の学校訪問一日目、クアラルンプール市内の女子校に行きました。そこではバディと呼ばれる現地の生徒と行動を共にし、校内を説明してもらいました。歓迎会が催された時、私はテッターというミルクティーを伝統的な揚げバナナと頂きました。実を言えばミルクティーは得意ではなかったのですが、その紅茶はクセが無く、優しい味がしました。その会ではマレーシアの伝統的なダンスを見せてもらったことを覚えています。独特の化粧からかその女の子からはエキゾチックな雰囲気は漂っていました。そこで私は初めて、その国の伝統を五感で感じたように思います。日本のもの程甘くないバナナが何故か懐かしく思えました。私に日本について尋ねてくれるバディ

は、目を輝かせて私の拙い英語も一生懸命に聞いてくれました。なぜそんなに親切なのか理由を聞けばただ一言だけこう言ってくれました「日本が好きだからだよ。」この言葉は一生の宝物です。日本もかつては高度経済成長を迎え、現在は先進国の一つとして歩んでいます。恐らくマレーシアも何年後には同じく仲間入りを果たすかと思えます。そこで日本がマレーシアの良き見本であってほしいと願います。今回の派遣において異国文化の素晴しさだけでなく、日本の素晴らしさを改めて確認することが出来ました。それはこれからの国際社会を生きていく中欠くことのできない重要なことだと思うのです。私がマレーシアで感じた伝統、暖かな歓迎の心など、それらがこれからのマレーシアでも受け継がれることを祈ります。そして今回の派遣で培った経験を元にこれからの生活をさらに豊かなものにしていきたいです。